



鳴子温泉に来たら こけしの絵付けにチャレンジ!

横から見た菊の姿を重ねて描く「重ね菊」が鳴子こけしの特徴だが、絵付けは自由でOK! 鳴子伝統こけしを再現するのもよし、好きなキャラクターを描くのもよし。まずは目や鼻など顔のパーツから描き始め、続いて髪の毛、胴体の模様へと進めるのがきれいに描くポイントだ。

鳴子温泉にはこけしの絵付け体験ができる工房がたくさんあるので、ぜひ世界に一つだけのオリジナルこけしを作ってみよう!

こけしの絵付け体験ならココ!

店名	住所	電話番号	営業時間	休み
大沼こけし店	大崎市鳴子温泉字湯元93-1	☎0229-83-3163	8:00~20:00	不定休
岡崎 斉の店	大崎市鳴子温泉湯元96	☎0229-83-3153	7:00~22:00	不定休
桜井こけし店	大崎市鳴子温泉字湯元26-6	☎0229-83-3460	8:00~20:00	不定休
岸 こけし店	大崎市鳴子温泉湯元24	☎0229-83-2555	8:00~18:00	不定休
こけしの岡仁	大崎市鳴子温泉新屋敷51	☎0229-83-4051	9:00~18:00	不定休
日本こけし館	大崎市鳴子温泉字尿前74-2	☎0229-83-3600	8:30~17:30	1月~3月
岩下こけし資料館	大崎市鳴子温泉字古戸前80	☎0229-83-3725	8:00~18:00	年中無休
松田工房	大崎市鳴子温泉上鳴子126-10	☎0229-83-3573	8:00~17:00	不定休
こけしの菅原屋	大崎市鳴子温泉上鳴子135	☎0229-83-3664	8:00~17:00	年中無休
柿澤こけし店	大崎市鳴子温泉古戸前132	☎0229-83-2495	9:00~17:00	不定休

江戸時代、お椀やお盆を挽く木地師が、子供のための玩具として作り与えたのが始まりとされているこけし。「こけし」の首の部分はロクロを回しながら、二気にはめ込む。「キョッキョツ」と鳴る鳴子こけしの特徴は、この首入れの技術あつてのものです。鳴子伝統こけしの第一人者菅原さんが、そう言いながら実演してみせてくれる。素材となる「ミズキ」を

鳴子こけしの愛らしさに秘めた職人技

秋口から伐採し、1年間寝かせて乾燥。ロクロを回しながら削り、描彩、蠟仕上げまで、全く気を抜けない作業の連続だ。「買われた方に、子供を見るような気持ちで大事にしてもらえようように」と思っているんです。だから、顔のいのちである眼を描く時にはいまだに緊張します。かわいらしい姿に秘められた技と心が、長く愛される理由なのだ。



「眼を入れる時には、
息をとめて描くんです」

伝統工芸士 菅原和子さん

華やかさと可憐さに満ちたデザイン。首を回すと鳴る「キョッキョツ」という音が特徴。胴に描かれる模様は「重ね菊」といい、横から見た菊の姿を重ねて描くものが代表的。

鳴子伝統こけし



■日本こけし館 (にほんこけしかん)

東北の伝統こけしが集合!

昭和28年に詩人で童話作家の深沢要さんのコレクションが旧鳴子町に寄贈されたこと、また昭和32年から毎年全国のこけし工人たちから、こけし祭りへの奉納こけしがおくり続けられたことがきっかけとなり、昭和50年に開館したこけしの博物館。館内には東北各地の伝統こけしが展示されるとともに、工人による木地挽きや絵付けなどが見学できる実演コーナー、オリジナルのこけしが作れる絵付けコーナーもある。

■住所 / 大崎市鳴子温泉字尿前74-2 ■電話 / 0229-83-3600
■営業時間 / 8:30~17:00(12月は9:00~16:00) ■休 / 1月1日~3月31日 ■入館料 / 大人320円、高校生160円、中学生110円、小学生80円 ■HP / <http://www.kokesikan.com/>

